

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後なかよしクラブ			
○保護者評価実施期間	2025/1/20		～	2025/2/10
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数)	25
○従業者評価実施期間	2025/1/20		～	2025/2/10
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025/2/27			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にを行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域関係機関との連携体制	<p>気になることがあれば、すぐに連絡を取り合うように心がけています。</p> <p>地域の通所支援事業所が集まり、情報交換をする機会を作りました。</p> <p>学校に訪問したり、会議があれば必ず出席したりして共通理解のもとに支援が行えるように取り組みました。</p>	<p>繋がりのできた先生や職員の方々が異動したとしても、変わらぬ連携体制を維持するために、引き続き訪問や会議、日々の連絡を通して顔の見える関係性作りに取り組んでいます。</p>
2	満足度の項目の評価が高い	<p>ご利用された時の様子をコドモンを使って配信することで子どもたちがどのように過ごしているか保護者様にも伝わりやすいようにしています。</p> <p>活動内容についても、子どもたちの意見を取り入れたり、一緒に考えたりすることで能動的に活動に参加しようとする意欲を大事にしています。</p>	<p>引き続き子どもたちが安心を持って通所し、職員や友達との関わりを通じて「楽しい」と感じる場面をたくさん作っていきます。そのためには、活動内容の工夫、子ども同士の関係性の変化などをチームで検討したり、保護者様や関係機関からの情報を参考にしたりしながら皆様からの期待に添えるように取り組んでいます。</p>
3	チーム全体で振り返りを行い、共通理解のもとで支援をしている	<p>良い成果が見られた時には、なぜ良かったのか、再現性を高めていくためにはどうすべきかということをチームで振り返り、時間をかけてより良い支援に繋げていくためのポイントを定め、意思統一をしながら取り組んでいます。</p>	<p>支援の振り返りを行う際に、専門的な知識を増やしていくことで、話し合いの質を高めより良い支援が提供できるように専門性を高めています。</p>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流	<p>児童クラブとの併行利用をされている児童が多く、積極的に交流を望まれる声がないため、児童クラブ等の交流の優先順位が高くない現状がある。</p>	<p>保護者の皆様のニーズを確認しつつ、仮にニーズがなかったとしても児童クラブ等と連絡を取り合える関係を作り共通理解のもとに支援を行なっていく関係性を深めていく。気になる様子があれば電話等をして情報交換を行なっていく。</p>
2	家族に対して家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会	<p>週に1回、臨床心理士が参加して行う保護者ミーティングを開催するようになったが、現状では多数の方が参加を希望されても対応することが難しい。</p>	<p>保護者ミーティング以外にも、ペアレントプログラムの紹介などを行なっていきます。また一般の方が参加のできる研修会の周知なども行なっていきます。</p>
3	各種マニュアルの周知が十分に行き届いていない	<p>コドモンの活用が十分にできていない。連絡機能以外の機能を職員が十分に理解できていないため、各種マニュアルを掲載しても保護者が閲覧できない状態になっていたことに気づけていなかった。</p>	<p>職員会議等でコドモンでできる機能や使い方について再度勉強する機会を作り、各種マニュアルの周知等に活用する。保護者が見てわかりやすいようにマニュアルの見直しも行っていく</p>